

刈谷市教育委員会・中央図書館[編]『森三郎童話選集 かささぎ物語』(1995)掲載作初出一覧

酒井晶代・神谷磨利子[調査]・鈴木哲[編集]

No.	表題(掲載順)	初出年	初出誌・単行本	発行社	名義(目次)	赤い鳥分類	紙芝居化
1	狐	1932	『赤い鳥』 昭和7年10月号	赤い鳥社	中村吉麿	童話	○
2	夕顔物語	1936	『赤い鳥』 昭和11年8月号	赤い鳥社	辻乙四郎	童話	
3	馬方八五郎	1933	『赤い鳥』 昭和8年4月号	赤い鳥社	沼田龍吉	童話	○
4	父	1943	『雪こんこんお寺の柿の木』	泰光堂	森三郎		
5	鼓大名	1943	『雪こんこんお寺の柿の木』	泰光堂	森三郎		
6	帽子にばけたクロネコ	1949	『帽子に化けたクロネコ他数篇』	東京一陽社	森三郎		
7	お染	1932	『赤い鳥』 昭和7年12月号	赤い鳥社	森三郎	童話	
8	わらび餅	1932	『赤い鳥』 昭和7年7月号	赤い鳥社	森三郎	童話	
9	めぐりあい	1934	『赤い鳥』 昭和9年8月号	赤い鳥社	河本宇吉(芳村末雄)	童話	
10	赤鬼青鬼	1933	『赤い鳥』 昭和8年1月号	赤い鳥社	辻乙四郎	童話	○
11	梅の木	1933	『赤い鳥』 昭和8年1月号	赤い鳥社	森三郎	童話	
12	新葛の葉ものがたり	1949	『帽子に化けたクロネコ他数篇』	東京一陽社	森三郎		
13	かささぎ物語	1931	『赤い鳥』 昭和6年12月号	赤い鳥社	森三郎	童話	○
14	竹馬与市	1932	『赤い鳥』 昭和7年4月号	赤い鳥社	中村吉麿(大村吉麿)	童話	
15	虹の松原	1932	『赤い鳥』 昭和7年6月号	赤い鳥社	森三郎	童話	
16	目ぐすり	1932	『赤い鳥』 昭和7年3月号	赤い鳥社	戸田龍(戸田龍作)	童話	○
17	虎	1932	『赤い鳥』 昭和7年2月号	赤い鳥社	森三郎	昔話(童話)	
18	ちえの小法師	1932	『赤い鳥』 昭和7年7月号	赤い鳥社	中村吉麿	童話	○
19	おばあさんと鬼	1931	『赤い鳥』 昭和6年7月号	赤い鳥社	茅原順三	昔話(童話)	
20	一片のパイ	1952	『新児童文学』47(復刊15号)	新児童文学会	森三郎		
21	簪(かんざし)	1943	『うぐひすの謠』	拓南社	森三郎		
22	いたちの手ぬぐい	1932	『赤い鳥』 昭和7年8月号	赤い鳥社	坂間修	童話	
23	アオイの大臣	1949	『帽子に化けたクロネコ他数篇』	東京一陽社	森三郎		
24	ジャンケン橋	1949	『帽子に化けたクロネコ他数篇』	東京一陽社	森三郎		
25	姉	1947	『銀河』第2巻第4号(昭和22年4月号)	新潮社	モリ・サブロウ		
26	山彦	1943	『雪こんこんお寺の柿の木』	泰光堂	森三郎		
27	雪こんこんお寺の柿の木	1943	『雪こんこんお寺の柿の木』	泰光堂	森三郎		○

注 1 「森三郎童話選集」は用語の書き換えがなされ、また作品初出を欠いている。この不足を補うため、初出一覧を作成した。

2 一覧は『かささぎ物語』「〈解説〉森三郎・人と作品」「森三郎略年譜」(pp. 232-61)筆者・酒井晶代資料をもとにした。

3 「森三郎童話選集」掲載は『かささぎ物語』27編、『夜長物語』30編、計57編である。初出は『赤い鳥』が44点で77%を占める。他は『帽子に一』6点、『雪こん一』4点、『新児童文学』『うぐひす一』『銀河』各1点である。『赤い鳥』『雪こん一』『うぐひす一』は戦前発行である。

4 最も早い作品は「赤穴宗右衛門兄弟」(1931)、遅いものは「一片のパイ」(1952)である。前者は森三郎(1911-93)20歳、後者は41歳である。

5 2022/7現在、『かささぎ物語』作品7編、『夜長物語』作品4編、選集外「たんぼぼ」(『赤い鳥』1936/10)の計12編が紙芝居化されている。